



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場会社名 トレンドマイクロ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4704 URL <http://www.trendmicro.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) エバ・チェン  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) マヘンドラ・ネギ (TEL) 03-5334-4899  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	83,941	5.1	24,630	13.1	26,504	11.6	16,490	10.4
25年12月期第3四半期	79,885	14.9	21,786	31.2	23,742	39.0	14,938	38.8

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 17,263百万円(△12.6%) 25年12月期第3四半期 19,758百万円(69.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	122.45	121.59
25年12月期第3四半期	112.94	112.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	262,668	141,341	52.8
25年12月期	261,493	142,539	53.6

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 138,790百万円 25年12月期 140,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	0.00	-	125.00	125.00
26年12月期	-	0.00	-	-	-
26年12月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年12月期の期末配当については未定です。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,000	3.4	30,100	2.2	32,000	△1.4	19,100	△2.5	141.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年12月期3Q	140,293,004株	25年12月期	140,293,004株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	5,951,624株	25年12月期	5,430,724株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年12月期3Q	134,676,777株	25年12月期3Q	132,273,003株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 追加情報	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高		
	平成26年12月期 第3四半期 (累計)	平成25年12月期 第3四半期 (累計)	増減率
日本	37,225	35,905	3.7%
北米地域	17,972	17,567	2.3%
欧州地域	16,701	14,940	11.8%
アジア・パシフィック地域	9,895	9,509	4.1%
中南米地域	2,146	1,962	9.4%
合計	83,941	79,885	5.1%

当第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)における世界経済は、欧州諸国や新興国の一部に成長の減速がみられました。一方、量的緩和政策の終了時期が注目される米国は各種経済指標の改善などを背景に順調な回復を見せ世界経済を牽引するような状況で推移しましたが、今後の動向が懸念されます。

わが国経済は、政府の積極的な経済政策や日銀による大規模な金融緩和の下、企業収益や雇用情勢に改善がみられるなど緩やかな回復基調の中、推移しましたが、消費税率引き上げの影響の長期化をはじめ、このところ一部にやや弱さも見られ、景気の下押しリスクが台頭しつつあります。

情報産業につきましては、世界的には引き続きサーバ仮想化を含むクラウドコンピューティングとそれに伴うITサービスのほか、スマートフォンをはじめとするモバイル端末への需要が強さをみせています。世界のパソコン出荷台数は依然として新興国での不振が響き減少しているものの、企業による買い換え需要などにより落ち込みは市場予測より小幅にとどまりました。一方、国内パソコン出荷台数においてはWindows XPのサポート終了に伴う買い換え需要の反動減が起き始めており、足下では出荷台数だけでなく、出荷金額でも昨年を大きく下回るような状況となっております。

セキュリティ業界においては依然として特定の企業や国家機関などを狙ったサイバーテロ攻撃や、それらによる企業の顧客情報や個人のプライベート情報の漏洩などが注目を集めました。

このような環境下、当社グループの経営状況は、以下のようなものであります。

日本地域につきましては、企業向けビジネスは引き続きクラウド関連ビジネスの伸長もあり、増収を維持しました。また、個人向けビジネスは増税前の駆け込み需要やWindows XPのサポート終了に伴うパソコン需要などの特需の恩恵を受け、同地域の売上高は37,225百万円(前年同期比3.7%増)と増収となりました。

北米地域につきましては、企業向けビジネスが引き続きクラウド関連ビジネスの伸長を見せ、現地通貨ベースでも増収を維持しました。一方、個人向けビジネスは利益率を意識したチャネルの絞り込みや、ユーザ数の減少により現地通貨ベースで大幅な減収となりました。低調な個人向けビジネスが足を引っ張ったものの、円安の影響もあり、同地域の売上高は17,972百万円(前年同期比2.3%増)の増収となりました。

欧州地域につきましては、マクロ需要動向が懸念されるものの、企業向けビジネスは現地通貨ベースでも増収となりました。また、円安の影響もあり、同地域の売上高は二桁成長の16,701百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

アジア・パシフィック地域につきましては、中国とオーストラリアが現地通貨ベースにおいても堅調であり、引き続き同地域を牽引しました。その結果、同地域の売上高は9,895百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

中南米地域につきましては現地通貨ベースにおいても堅調な伸びを示しました。特にブラジルの企業向けビジネスが同地域を牽引しました。その結果、同地域の売上高は2,146百万円(前年同期比9.4%増)となりました。

その結果、当社グループ全体の当第3四半期連結累計期間における売上高は83,941百万円(前年同期比5.1%増)と全地域において増収となりました。

一方費用につきましては、ストック・オプション関連費用や外注費が減少したものの、主に人件費が増加し、売上原価および、販売費及び一般管理費の合計費用は59,310百万円(前年同期比2.1%増)となり、当第3四半期連結累計期間の営業利益は24,630百万円(前年同期比13.1%増)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の経常利益は26,504百万円(前年同期比11.6%増)、四半期純利益は16,490百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の現金及び預金の残高は54,086百万円となり、前連結会計年度末に比べ25,546百万円減少いたしました。現金及び預金が大幅に減少しましたが、有価証券及び投資有価証券が大幅に増加したことなどにより、当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1,175百万円増加の262,668百万円となりました。

一方、当第3四半期連結会計期間末の負債は未払法人税等が減少しましたが、繰延収益及び未払金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ2,372百万円増加の121,327百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払いや自己株式の取得などにより、前連結会計年度末に比べ1,197百万円減少の141,341百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成26年2月18日に公表した通期業績予想の変更はございません。

平成26年12月期通期業績見通し(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

連結売上高	112,000百万円
連結営業利益	30,100百万円
連結経常利益	32,000百万円
連結純利益	19,100百万円

上記業績予想値の策定にあたって、前提としております年間為替レートの主要なものは下記の通りであります。

1米ドル	100円
1ユーロ	138円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないことになりました。これにより、法人税等は813百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	79,632	54,086
受取手形及び売掛金	24,546	22,282
有価証券	60,958	70,910
たな卸資産	408	517
繰延税金資産	15,462	15,690
その他	3,821	4,192
貸倒引当金	△217	△235
流動資産合計	184,612	167,443
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	3,271	3,366
その他（純額）	1,312	1,117
有形固定資産合計	4,583	4,483
無形固定資産		
ソフトウェア	6,975	7,633
のれん	1,119	806
その他	1,065	906
無形固定資産合計	9,160	9,346
投資その他の資産		
投資有価証券	51,095	67,663
関係会社株式	38	1,138
繰延税金資産	10,576	11,212
その他	1,425	1,380
投資その他の資産合計	63,135	81,395
固定資産合計	76,880	95,225
資産合計	261,493	262,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	486	692
未払金	3,789	5,136
未払費用	5,015	4,852
未払法人税等	5,279	3,242
賞与引当金	1,433	1,541
返品調整引当金	656	913
短期繰延収益	65,429	66,846
その他	4,976	4,447
流動負債合計	87,066	87,672
固定負債		
長期繰延収益	27,429	28,127
退職給付引当金	2,896	3,237
その他	1,561	2,289
固定負債合計	31,887	33,654
負債合計	118,954	121,327
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,386	18,386
資本剰余金	21,796	21,883
利益剰余金	113,509	113,143
自己株式	△16,303	△18,192
株主資本合計	137,389	135,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,768	1,333
為替換算調整勘定	1,045	2,236
その他の包括利益累計額合計	2,813	3,569
新株予約権	2,326	2,541
少数株主持分	9	9
純資産合計	142,539	141,341
負債純資産合計	261,493	262,668



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	79,885	83,941
売上原価	14,736	14,577
売上総利益	65,149	69,363
販売費及び一般管理費	43,362	44,732
営業利益	21,786	24,630
営業外収益		
受取利息	1,063	1,284
有価証券売却益	1,184	798
持分法による投資利益	-	2
その他	88	73
営業外収益合計	2,336	2,159
営業外費用		
支払利息	5	9
有価証券売却損	0	-
為替差損	139	48
持分法による投資損失	1	-
固定資産除却損	-	134
その他	234	93
営業外費用合計	380	285
経常利益	23,742	26,504
特別利益		
新株予約権戻入益	74	23
関係会社株式売却益	403	-
特別利益合計	478	23
税金等調整前四半期純利益	24,221	26,528
法人税等	9,282	10,037
少数株主損益調整前四半期純利益	14,938	16,490
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	14,938	16,490

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,938	16,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	739	△432
為替換算調整勘定	4,076	1,191
持分法適用会社に対する持分相当額	3	13
その他の包括利益合計	4,819	772
四半期包括利益	19,758	17,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,756	17,263
少数株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	24,221	26,528
減価償却費	5,376	5,094
株式報酬費用	573	579
新株予約権戻入益	△74	△23
のれん償却額	251	329
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	45	9
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	451	256
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	314	305
受取利息	△1,063	△1,284
支払利息	5	9
持分法による投資損益 (△は益)	1	△2
有価証券売却損益 (△は益)	△1,184	△798
固定資産除却損	-	134
関係会社株式売却損益 (△は益)	△403	-
売上債権の増減額 (△は増加)	1,426	2,217
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△21	△100
仕入債務の増減額 (△は減少)	182	186
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△1,444	△308
繰延収益の増減額 (△は減少)	521	1,871
自社株連動型報酬 (△は減少)	1,621	19
その他	557	△347
小計	31,356	34,675
利息及び配当金の受取額	1,115	1,071
利息の支払額	△5	△9
法人税等の支払額	△12,640	△12,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,826	23,584
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	208	597
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△79,575	△122,444
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	75,101	97,895
有形固定資産の取得による支出	△1,601	△1,333
無形固定資産の取得による支出	△3,302	△4,413
関係会社株式の取得による支出	-	△1,030
関係会社株式の売却による収入	559	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,611	△30,729
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△1,848	△3,344
自己株式の処分による収入	8,580	1,201
配当金の支払額	△8,411	△15,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,678	△17,912
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,865	50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,402	△25,007
現金及び現金同等物の期首残高	50,446	73,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,848	48,942

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	中南米	計	調整額 (注)3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)4
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	35,905	17,567	14,940	9,509	1,962	79,885	—	79,885
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,103	1,705	713	11,194	10	16,728	△16,728	—
計	39,009	19,272	15,654	20,704	1,972	96,613	△16,728	79,885
セグメント利益	15,250	3,363	2,081	892	449	22,037	△250	21,786

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国・カナダ

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・韓国・オーストラリア・中国・フィリピン・シンガポール・  
マレーシア・タイ・インド

中南米 … ブラジル・メキシコ

3 セグメント利益の調整額△250百万円は、その全額がセグメント間消去の金額であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	中南米	計	調整額 (注)3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)4
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	37,225	17,972	16,701	9,895	2,146	83,941	—	83,941
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,499	1,857	772	12,937	11	17,077	△17,077	—
計	38,724	19,829	17,473	22,832	2,158	101,018	△17,077	83,941
セグメント利益	14,533	4,389	3,234	1,792	550	24,499	131	24,630

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
- |            |   |  |
|------------|---|--|
| 北米         | … | 米国・カナダ                                     |
| 欧州         | … | アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国                    |
| アジア・パシフィック | … | 台湾・韓国・オーストラリア・中国・フィリピン・シンガポール・マレーシア・タイ・インド |
| 中南米        | … | ブラジル・メキシコ                                  |
- 3 セグメント利益の調整額131百万円は、その全額がセグメント間取引の金額であります。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。